



## 2020年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月1日

上場会社名 手間いらず株式会社  
 コード番号 2477 URL <https://www.temairazu.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 哲男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 木内 健二  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月1日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5447-6690

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第3四半期の業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,267	27.8	885	39.5	886	39.7	587	40.6
2019年6月期第3四半期	992	21.0	635	23.9	634	23.8	417	29.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	90.71	
2019年6月期第3四半期	64.52	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	3,986	3,714	93.2	489.99
2019年6月期	3,629	3,336	94.5	573.44

(参考)自己資本 2020年6月期第3四半期 3,714百万円 2019年6月期 3,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		20.00	20.00
2020年6月期		13.00			
2020年6月期(予想)				13.50	26.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,702	25.2	1,163	31.6	1,164	31.7	759	30.8	117.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期3Q	6,478,584 株	2019年6月期	647,702 株
------------	-------------	----------	-----------

期末自己株式数

2020年6月期3Q	171 株	2019年6月期	140 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年6月期3Q	6,477,959 株	2019年6月期3Q	6,476,887 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①わが国経済の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調でスタートしました。しかしながら、期の後半では新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大が国内外の経済活動に急速に影響を及ぼしており、先行きを見通すことが難しい状況が続いています。

#### ②当社業績と関連性が高い市場の状況

アプリケーションサービス事業と関連性がある宿泊旅行業界においては、新型コロナウイルス感染症の終息後に向けた施策の検討開始や、1年後に延期となったオリンピックへ向けての準備などの動きがみられるものの、インバウンド需要の大幅な減少及び国内での外出自粛要請等を受け、難しい状況が続いています。日本政府観光局の調べによると、当該四半期における累計訪日外客数はおよそ393万9千人と推計され、前年同期比51.1%減となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために世界各国において渡航制限が厳しさを増し、日本においても検疫強化や査証の無効化等の対象拡大を行った2020年3月においては、訪日外客数が前年同月比93.0%減となりました。2020年4月に入り、一部の国や地域ではロックダウン等の規制が解除または緩和されるなどの明るい兆しがあるものの、日本を含め多くの国における外出自粛要請や規制、及び渡航制限は続いており、宿泊需要の減少で宿泊旅行業界は厳しい状況となっています。

#### ③業績の概況

このような環境の中、アプリケーションサービス事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による宿泊需要減少等により、売上への若干の影響が出てはありますが、アプリケーションサービス事業は引き続き当社全体の業績を牽引しています。当第3四半期累計期間の売上高は1,267,903千円（前年同期比27.8%増）となり、営業利益は885,932千円（前年同期比39.5%増）、経常利益は886,954千円（前年同期比39.7%増）、四半期純利益は587,619千円（前年同期比40.6%増）となりました。

現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であります。当社では日本国内においては6月頃より徐々に経済活動が再開し7月頃には通常の活動が始まり、インバウンドについては秋頃より動き出すのではないかと予想しておりますが、今後拡大及び長期化が新規契約獲得の鈍化や閉館等による契約数の減少等をもたらし、業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

#### アプリケーションサービス事業

宿泊予約サイトコントローラー『TEMAIRAZU』シリーズにおいて、新たな販売チャネルとの連携による集客機能の強化を図るため、株式会社アドベンチャーが運営する航空券や宿泊等の予約販売サイト『skyticket』、及びアジアに強みを持つホールセラー、株式会社オーマイホテルアンドコーとの連携を開始しました。また、メトロエンジン株式会社が提供する、Googleホテル広告\*を含むメタサーチに特化した自社予約エンジン『メトロブッキング』との連携を開始しました。

システム連携にとどまらず、2020年3月には、小規模宿泊施設や民泊施設を複数運営している事業者向けに、『TEMAIRAZU』シリーズの新バージョン『手間いらずmini』の提供を開始しました。『手間いらずmini』では、運営本部用の管理画面一つでまとめて複数施設の客室在庫やプラン料金の設定や管理でき、効率のよい運営が可能となります。

また、『TEMAIRAZU』シリーズは、世界最大規模の旅行ECサイト『Booking.com』のコンネクティビティ・パートナープログラムにおいて、トップレベルのプレミアパートナーに認定されました。コンネクティビティ・パートナープログラムは各プロバイダーに対して、宿泊施設のためになる具体的なアクションの実行を促すプログラムであり、当社の製品の機能性や利便性の向上への取り組み等が評価されました。

営業活動においては毎年2月に開催される大規模イベント、国際ホテル・レストラン・ショーへの出展を行いました。新型コロナウイルスの影響もあり全体の来場者数は昨年より減少したものの、今後につながる営業活動を行いました。

これらの施策を行った結果、アプリケーションサービス事業の当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高が1,242,960千円（前年同期比28.3%増）となり、セグメント利益は977,973千円（前年同期比37.7%増）となりました。

\*Googleホテル広告は、Google 検索やGoogleマップで、宿泊施設の料金と空室状況を表示させることのできる広告サービスです。

#### インターネットメディア事業

比較サイト『比較.com』においては、効果の悪い広告の削減と同時に、検索エンジンの最適化、ユーザーインターフェイスの改善、モバイルユーザビリティの向上等の対策を継続したこと、また、外出自粛によりインターネットでの巣ごもり需要が増えている影響もあり、サイトのトラフィックが増加しました。

この結果、インターネットメディア事業の当第3四半期累計期間の売上高は24,943千円（前年同期比6.5%増）となり、セグメント利益は17,003千円（前年同期比79.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期末における資産合計は、前事業年度末に比べ356,611千円増加し、3,986,461千円となりました。流動資産は354,978千円増加し、3,926,083千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加397,158千円であります。固定資産は1,633千円増加し、60,377千円となりました。主な要因は長期前払費用の増加6,861千円と繰延税金資産の減少4,705千円であります。

##### (負債)

当第3四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ21,398千円減少し、271,461千円となりました。流動負債は21,398千円減少し、271,461千円となりました。主な要因は未払法人税等の減少52,231千円、前受金の増加18,107千円と未払消費税の増加15,865千円であります。なお、当社に固定負債はありません。

##### (純資産)

当第3四半期末における純資産合計は、前事業年度末に比べ378,010千円増加し、3,714,999千円となりました。主な要因は当期純利益587,619千円の計上による増加と剰余金の配当による減少213,770千円等であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は現時点では軽微でありますので、2019年8月2日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,345,274	3,742,433
売掛金	221,830	169,836
その他	11,684	15,685
貸倒引当金	△7,684	△1,870
流動資産合計	3,571,105	3,926,083
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,167	2,167
減価償却累計額	△2,167	△2,167
建物(純額)	—	—
工具、器具及び備品	29,931	30,523
減価償却累計額	△26,341	△27,582
工具、器具及び備品(純額)	3,589	2,941
有形固定資産合計	3,589	2,941
無形固定資産		
ソフトウェア	401	1,044
無形固定資産合計	401	1,044
投資その他の資産		
繰延税金資産	33,116	28,410
その他	25,922	40,342
貸倒引当金	△4,286	△12,361
投資その他の資産合計	54,752	56,391
固定資産合計	58,743	60,377
資産合計	3,629,849	3,986,461
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	200,522	148,290
その他	92,338	123,171
流動負債合計	292,860	271,461
負債合計	292,860	271,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	711,290	713,433
資本剰余金	1,002,290	1,004,433
利益剰余金	1,623,550	1,997,398
自己株式	△142	△266
株主資本合計	3,336,988	3,714,999
純資産合計	3,336,988	3,714,999
負債純資産合計	3,629,849	3,986,461

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	992,101	1,267,903
売上原価	75,446	89,258
売上総利益	916,655	1,178,645
販売費及び一般管理費	281,381	292,712
営業利益	635,273	885,932
営業外収益		
受取利息	333	386
その他	60	634
営業外収益合計	393	1,021
営業外費用		
その他	919	—
営業外費用合計	919	—
経常利益	634,746	886,954
税引前四半期純利益	634,746	886,954
法人税、住民税及び事業税	217,137	294,629
法人税等調整額	△246	4,705
法人税等合計	216,890	299,335
四半期純利益	417,856	587,619

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月26日 定時株主総会	普通株式	93,905	14.5	2018年6月30日	2018年9月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	129,551	20	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金
2020年2月3日 取締役会	普通株式	84,219	13	2019年12月31日	2020年3月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	968,691	23,410	992,101	—	992,101
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	968,691	23,410	992,101	—	992,101
セグメント利益	710,374	9,485	719,860	△84,586	635,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△84,586千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,242,960	24,943	1,267,903	—	1,267,903
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,242,960	24,943	1,267,903	—	1,267,903
セグメント利益	977,973	17,003	994,976	△109,044	885,932

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。